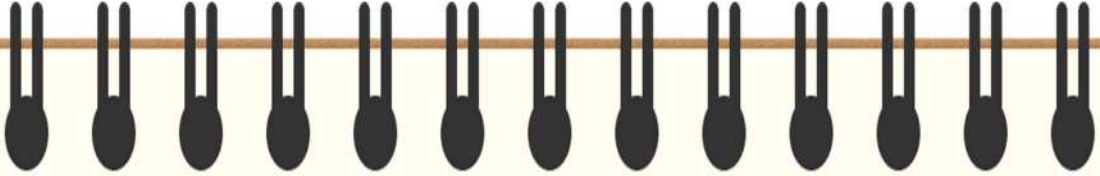


4月園だより

R5. 4. 7 No.1
かきの木幼稚園
園長 川井 直子

えんちょうのふでばこ



再び めぐり来る子ども達との四季

地球温暖化の影響なのか、本園の桜も3月末に満開となってしまいました。種から育つ植物は、例年通り。「グリーンゾーン」は今、タンポポ、スミレ、クローバー、ヘビイチゴ、南天等、花が咲いたり、新しい芽を出しています。

種から育つ植物は、日照時間＝昼と夜の長さで季節を知るそうです。昨年末に蒔くべき大麦の種まきをうっかり1ヶ月遅れてしまったところ、下記の写真の様な有様。今年はカボチャの種を間に蒔きます。その実は、美味しいスープか煮物にいたしましょう。その前に豪快なカボチャの苗の成長を観察できます。「麦茶」は努力して造ります。

本園の「教育の評価」は、就園年令児を持つご家庭によって様々です。本園の教育方針は、一見「古い」ように捉えられていますが、平成30年に改訂された文部科学省「幼稚園教育要領」の内容＝幼児期の終わりまでに育って欲しい資質や能力に示されている事柄と本園が時間をかけて、めざしていたものと一致していました。

幼児期の教育は児童期と異なるものがあると思います。左記の通り、たとえ直接的に小学校の学習に結びつかなくても自分の好きなことを発見し、ずっと追及して行く心が育って行くことが大切です。

たった一度しかない幼児期を健康で遅く歩んでいけるよう、教職員一同協力し合って参ります。



今年も、桜の木に「コゲラ」が来ました！
撮影 栗原 美知夫さん

- 子どもの教育とは、学びの身体化である。(身体を通して学ぶ)
 - ・思考は子どもの発達段階に応じて「遊び」の形として表れる。
 - ・思考は、「きっかけ＝見えること」から起こる行動である。
 - ・思考から得た認識は発展する。

知的レベル
情緒的レベル
社会的レベル

- 集団生活の中での立場についての自覚。
 - ・他人に対して自分をあたたかく繋げられる。
 - ・現実処理能力や情緒的安定等が図れる。



かき畑の大麦